

いざという時に
備えて

恵庭市

防災

ガイドブック

自然災害への5つの備え!

- 災害への備え
- 風水害への備え
- 地震への備え
- 火山災害への備え
- 土砂災害への備え



防災ガイドブック

突然やってくる自然災害を防ぐことはできませんが、事前に災害への対策や心構えを身につけておけば、被害を最小限に抑えることができます。いざという時に落ち着いて行動できるよう、災害時の危険個所はどこか、最寄りの避難場所はどこなのか、災害が起きた時の行動や予防策として、この「防災ガイドブック」を活用してください。

目次

災害への備え

避難情報の種類	1
警戒レベルと各情報の対応	1
『非常持出品』&『備蓄品』チェックリスト	2
いざという時の応急処置	2
自主防災組織	3
要配慮者(避難行動要支援者)	3
ペットを連れての避難について	3
災害に関する情報の入手	4
防災情報の取得手段とその概要	5
平常時も気象情報などに注意を	5
一時避難所一覧	6
収容避難所一覧	7

風水害への備え

雨による危険度のチェックポイント	8
風による危険度のチェックポイント	8
わが家の風水害対策	8
竜巻への備え	9
雪害への備え	9
浸水想定区域マップ	10

地震への備え

恵庭市揺れやすさマップ	12
わが家の安全対策	12
地震発生! そのときどうする	13
停電時の備え	13

火山災害への備え

樽前山噴火の被害想定範囲	14
樽前山が噴火するとこんな現象が起こります	15
もし噴火が始まったら	15

土砂災害への備え

土砂災害の種類	16
こんな前ぶれ現象に注意!	16
安全に避難するために	16

ハザードマップ 巻末ポケット

ハザードマップ	巻末ポケット
---------	--------

災害への備え

避難情報の種類

逃げ遅れゼロへ!

〔警戒レベル〕を用いた避難情報が発令されるようになりました。

市から〔警戒レベル③、④〕が発令された地区にお住まいの方は速やかに避難してください。

災害発生の危険度

警戒レベル 1

災害への心構えを高める

早期注意情報
(気象庁が発表)

警戒レベル 2

自らの避難行動を確認

大雨・洪水・高潮注意報
(気象庁が発表)

警戒レベル 3

危険な場所から
高齢者等は避難

高齢者等避難
(恵庭市が発令)

警戒レベル 4

危険な場所から
全員避難

避難指示
(恵庭市が発令)

警戒レベル4までに必ず避難!

警戒レベル 5

命の危険
直ちに安全確保

緊急安全確保
(恵庭市が発令)

警戒レベルと各情報の対応

警戒レベル	取るべき行動	避難の情報	雨の情報	川の情報
5	命を守る行動	緊急安全確保	大雨特別警報	氾濫発生情報
~<警戒レベル4までに必ず避難!>~				
4	全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
3	高齢者等避難	高齢者等避難	大雨・洪水警報	氾濫警戒情報
2	自らの避難行動を確認	—	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報
1	災害への心構えを高める	—	早期注意情報	—

※内閣府や気象庁発表の情報を参考に作成


災害への備え

『非常持出品』&『備蓄品』チェックリスト

非常持出品 災害時にすぐに持ち出せるように、準備しておきましょう。

<p>必需品</p> <p><input type="checkbox"/> 懐中電灯</p> 	<p><input type="checkbox"/> 携帯ラジオ</p> 	<p><input type="checkbox"/> 予備電池</p> 	<p><input type="checkbox"/> 飲料水</p>  <p>(1人1日3リットル目安)</p>	<p><input type="checkbox"/> 非常食</p> 
<p><input type="checkbox"/> タオル・毛布</p> 	<p><input type="checkbox"/> 衣類・下着類</p> 	<p><input type="checkbox"/> 感染症対策用品</p> 	<p><input type="checkbox"/> 貴重品</p> 	<p><input type="checkbox"/> お薬・救急セット</p>  <p>(お薬手帳も忘れずに!)</p>

備蓄品 最低3日分の準備をしておきましょう。(できれば7日分の備蓄を心がけましょう)

<p>燃料</p> <p><input type="checkbox"/> 卓上コンロ</p> <p><input type="checkbox"/> ガスボンベ</p> <p><input type="checkbox"/> 固形燃料</p> 	<p>非常食品</p> <p><input type="checkbox"/> お米 (レトルト・アルファ米も便利)</p> <p><input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品</p> <p><input type="checkbox"/> 梅干し・調味料</p> <p><input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・飴</p> 	<p>必要に応じて準備しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> ビニール袋・ティッシュ</p> <p><input type="checkbox"/> ろうそく・マッチ・ライター</p> <p><input type="checkbox"/> 洗面用具・生理用品</p> <p><input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ・携帯用トイレ</p> <p><input type="checkbox"/> 粉ミルク・ほ乳びん・紙おむつ</p> <p><input type="checkbox"/> メガネ</p> <p><input type="checkbox"/> 携帯電話充電器 (電池式)</p> <p><input type="checkbox"/> 雨具・軍手</p> <p><input type="checkbox"/> ヘルメット・帽子・マスク</p> <p><input type="checkbox"/> ラップフィルム (お皿に敷くと洗う必要がない)</p> <p><input type="checkbox"/> 生活用水 (風呂・洗濯機などに貯水)</p> <p><input type="checkbox"/> 各種アウトドア用品</p>
<p>飲料水</p> <p><input type="checkbox"/> ペットボトルや貯水した給水用ポリタンク</p> <p>1人1日 3リットル ×3日分</p> 	<p>冬の備え</p> <p><input type="checkbox"/> ポータブルストーブ (電池式)</p> <p><input type="checkbox"/> 寝袋</p> <p><input type="checkbox"/> アルミシート</p> <p><input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ</p> 	

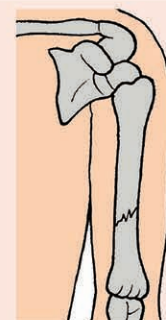
いざという時の応急処置

災害時はたくさんのけが人が同時に発生するため、応急手当てや救急救命のための専門の道具が入手困難になります。専門の道具が手に入らなくても、身の回りにあるごく一般的な生活雑貨などを使って応急手当が出来る技術を習得しておくことも重要です。以下に代表的な対処法をご紹介します。



多量の出血があったとき

出血している傷口をガーゼやハンカチなどで直接強く押さえて、しばらく圧迫することで止血を行います。



骨折したとき

骨折部の皮膚に傷がない、あるいは骨折部が体の表面の傷と直接つながっていない状態の場合。

- ・全身および患部を安静に。
- ・患部を固定 (骨折した手足の末梢を観察できるように、手袋や靴、靴下などを予め脱がせておきます)。
- ・骨折部が屈曲している場合、

自主防災組織

住民の皆さんが協力して自分たちの身を守る「共助」は特に大切です。一刻の予断も許さないような状況では、行政の支援を待ってはい間に合いません。そのような時、隣近所の方と協力して、被害に遭った方を救助、救援することでお互いの身を守ることができます。災害発生時はもちろんのこと、日頃から地域のみなさんが一緒になって防災活動に取り組むなど、顔の見える関係づくりが大切であり、そのためにも「自主防災組織」の存在は不可欠なものです。

●自主防災組織とは

地域住民の方が連帯して防災活動を行う組織です。

●活動の内容

- 平常時…防災知識の普及、防災訓練の実施など
- 災害時…情報収集、救出活動、初期消火活動、地域住民の避難誘導など

●組織するためには

- 地区や町内会単位など、活動しやすい単位で協議してみましょう。
- 市役所にご相談ください。結成に向けたお手伝いをいたします。



要配慮者(避難行動要支援者)

「要配慮者」とは、高齢者や障がい者、乳幼児など災害時に特に配慮を必要とする方のことをいいます。また、要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難であり、特に支援を必要とする方は「避難行動要支援者」として位置付けられています。

避難行動や避難所生活などの様々な場面で助け合い、支え合いましょう。

介助が必要な方



複数人で対応する。車椅子や担架を使うほか、緊急時はおぶって移動する。

目や耳の不自由な方



音声や手話、メモなど、その人に伝わる方法で情報を伝える。

観光客、外国人の方



土地勘のない人を避難場所などへ誘導する。言葉が通じない場合は身振り手振りなどで伝える。

普段からの交流



災害時にスムーズな支援をするためには、日頃のコミュニケーションが大切。

ペットを連れての避難について

避難の指示があった時には、動物を連れて避難しましょう。

災害時は人も動物も興奮していますから、普段と違った行動を取ることも考えられます。リードは放さないようにしっかり持ち、キャリーバッグやケージはしっかり抱えて動物の安全に気を配りましょう。

避難所では、動物の世話やフードの確保、飼養場所の管理は飼い主の責任の下に行うことになります。衛生的な飼養管理を行うことはもちろん、周りの人に配慮したルールを作り、飼い主同士が協力して助け合いましょう。



熱傷(やけど)したとき



無理に正常位に戻そうとすると、鋭利な骨折端が神経、血管などを傷つける恐れがあるので、そのままの状態を固定。

- ・固定後は、傷病者の最も楽な体位に。腫れを防ぐために、できれば患部を高く。
- ・全身を毛布などで包み、保温。

- ・急いで冷たい水、水道水を注いで痛みが取れるまで冷やします。
- ・衣類は無理に脱がさず、そのままの状態ですぐ冷やします。
- ・水ぶくれはつぶさないで、消毒した布か洗濯した布で覆い、その上から冷やします。

異物がのどにつまったとき

のどに異物が詰まると、話しかけても返答ができないとか、のどをつかむような仕草をして、苦しい状態を示そうとします。傷病者が咳をすることが可能であれば、咳が最も効果的です。声が出ないか、十分に強い咳ができない場合は119番通報をしたうえで以下の手当を試みます。



背中をたたく



上腹部を突き上げる



胸部を突き上げる

災害への備え

災害に関する情報の入手

災害が発生したり、発生するおそれがある場合、防災行政無線・緊急速報メール・広報車・テレビ・ラジオ・恵庭市ホームページなどで、災害に関する情報を伝達します。正しい情報を入手し、落ち着いて行動するようにしましょう。

◆全国瞬時警報システム《J-ALERT(ジェイ・アラート)》

弾道ミサイル情報、緊急地震速報、噴火警報等、対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、緊急情報が消防庁から人工衛星を使って送信され、防災行政無線から自動的にメッセージが放送されるシステムです。警報が発表された場合は、周囲の状況に応じて、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。

国民保護に関する情報

- 弾道ミサイル情報
- 航空攻撃情報
- ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- 大規模テロ情報
- 緊急に住民に伝達することが必要な情報

自然災害に関する情報

- 気象などの特別警報(大雨暴風大雪など)
- 緊急地震速報(震度5弱以上)
- 噴火警報(噴火警戒レベル4-5)

◆緊急地震速報

地震による強い揺れを事前にお知らせするための地震動の警報・予報です。テレビ・ラジオ・携帯電話・防災行政無線などで伝えられます。緊急地震速報を見聞きしてから、強い揺れがくるまでの時間は数秒から数十秒しかありません。まわりの人にも声をかけながら、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。

◆避難に関する情報

火山噴火や風水害などにより、被害が発生するおそれがある場合、市は、防災行政無線・緊急速報メール・広報車・テレビ・ラジオ・市ホームページ・SNS (Facebook) など、多種多様な情報伝達手段を用いて避難に関する情報を発令します。

屋内にいたり、気象状況などにより防災行政無線が聞き取れない場合は、テレビやラジオ、インターネットやSNS (Facebook・Twitter) などを活用し、自ら情報を入手するように心がけましょう。

避難情報が発令された場合は、地域で協力し、適切に避難するようにしましょう。

災害時は、住民一人ひとりが自らの判断で避難行動をとることが原則です。危険を感じた場合などは、避難情報が発令される前でも自主的に安全な場所に避難するよう心がけましょう。

恵庭市メール配信サービス及びSNS(Facebook) について

恵庭市では、緊急性の高い情報及びその他の市政情報を、メール配信サービスを通じて配信しています。メール配信サービスについては「防災情報」に登録することで、避難情報や気象情報などの防災情報をメール受信できるようになります。

また、防災・減災情報等についてSNS(Facebook) を利用した情報配信も行っています。各2次元コードから登録・閲覧を行ってください。



メール配信サービス



Facebook

地域FM放送e-niwa(77.8MHz)について

恵庭のコミュニティFMラジオ局e-niwa(いーにわ)は、JR恵庭駅通り沿いにある複合施設「えにあす」から、地域情報を放送しています。

ラジオ放送に加え、SNS(FacebookやTwitter)等でも生活関連情報や、緊急災害時には、災害関連情報を発信します。



Facebook



Twitter

防災情報の取得手段とその概要

恵庭市では、災害に関する様々な情報を、多種多様な手段を用いて配信しています。より多くの手段で情報入手し、早めの避難行動につなげましょう。

伝達手段	対象	概要	音声	文章
防災行政無線	市内全域	情報を屋外スピーカー及び戸別受信機により一斉に配信する	○	△ (聴覚障がい者等)
広報車	対象地域	情報を車に搭載したスピーカーから周辺地域へ放送する	○	×
メール配信サービス	サービス登録者	サービス登録者に対しEメールにより情報を一斉配信する	△ (読み上げ機能)	○
市ホームページ	閲覧者	情報をホームページへ掲載する	△ (読み上げ機能)	○
災害用SNS (Facebook)	閲覧者	情報をアプリに掲載する	△ (読み上げ機能)	○
防災アプリ (みたちょ)	アプリ登録者	災害で通信ができない状況でも、避難場所の方角が分かるなどの機能を持ったアプリ	×	○
Lアラート	市内全域	自治体及び放送事業者、携帯電話会社等が情報共有を行う機能で、テレビ、ラジオ等を通じて情報が発信される	○ (テレビ・ラジオ ニュース等)	○ (テレビテロップ、 データ放送等)
北の道ナビ	閲覧者	北海道の道路情報総合案内サイト	http://northern-road.jp/navi/	
Yahoo!防災速報	閲覧者	緊急地震速報や豪雨予報、避難情報など	http://emg.yahoo.co.jp	

- ・防災行政無線や広報車による音声放送は、簡潔な内容で放送します。
防災行政無線が聞こえないときは「電話応答サービス0123-35-4664」で放送内容を確認することができます。
(通話料は自己負担となります。)
- ・読み上げ機能については、各端末などで性能が異なります。

平常時も気象情報などに注意を

気象庁ホームページや川の情報など災害が心配される場合は、下記のサイトなどから現在の状況を把握することができます。

◆防災情報

気象に関すること	札幌管区气象台	http://www.jma.go.jp/sapporo/	
河川に関すること	国土交通省「川の防災情報」	【P C】 https://www.river.go.jp/ 【スマホ】 https://www.river.go.jp/s/ 【携帯電話】 https://i.river.go.jp/	
	国土交通省 洪水浸水想定区域図等	https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/kluhh40000005ew0.html	
	北海道 洪水浸水想定区域図等	https://www.constr-dept-hokkaido.jp/ks/ikb/iji/shinsui/index2.html?area_kk1	
土砂災害に関すること	北海道 土砂災害警戒情報システム	https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/	
	恵庭市 土砂災害ハザードマップ	https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/kurashi/kyukyu_bosai/bosai_saigai/saigainisonaete/4075.html	

災害への備え

一時避難所一覧 ◇ 積雪などにより使用に適さない場合は、近くの収容避難所に避難して下さい。

NO	施設・場所名	住所	対象の災害種別		NO	施設・場所名	住所	対象の災害種別	
			地震	火災 規模大				地震	火災 規模大
1	わこう公園	和光町1-4	○	○	51	あおぼ公園	有明町3-9	○	○
2	和光小学校グラウンド	和光町2-10-1	○	○	52	あじさい公園	有明町4-631	○	○
3	ユカンボシ公園	和光町4-526	○	○	53	ありあけ公園	有明町5-755	○	○
4	エルム公園	和光町5-531-5	○	○	54	けいおう公園	恵央町15内	○	○
5	こまば公園	駒場町1-323	○	○	55	わかくさ公園	中島町1-4-8	○	○
6	恵庭公園	駒場町4-900-1外	○	○	56	中島公園	中島町3-3-1外	○	○
7	くるみ公園	駒場町5-619	○	○	57	若草小学校グラウンド	中島町4-5-1	○	○
8	もみじ公園	恵南6-49	○	○	58	どんぐり公園	中島町6-9	○	○
9	玉川組第1駐車場	相生町4-223	○	○	59	みかほ公園	柏陽町1-22	○	○
10	玉川組第2駐車場	相生町4-240	○	○	60	あかしゃ公園	柏陽町1-9	○	○
11	つつじ公園	相生町4-249、和光町3-373	○	○	61	きぼう公園	柏陽町3-26	○	○
12	みどり公園	緑町1-11	○	○	62	柏陽中学校グラウンド	柏陽町3-265	○	○
13	すみれ公園	緑町2-88	○	○	63	はくよう公園	柏陽町3-7	○	○
14	すみよし公園	住吉町3-418	○	○	64	かしわざ公園	柏陽町4-12	○	○
15	ほのぼの公園	黄金南1-18-1	○	○	65	こぼと公園	北柏木町2-286-16	○	○
16	黄金曙公園	黄金南3-15-10	○	○	66	ひばり公園	北柏木町3-100	○	○
17	やすらぎ公園	黄金南5-8-1	○	○	67	チビッコ公園	恵み野西1-17-13	○	○
18	カリンバ自然公園	黄金南6-1	○	○	68	花の丘公園	恵み野西3-2-15	○	○
19	すこやか公園	黄金南7-5	○	○	69	恵み野中学校グラウンド	恵み野東1-1-2	○	○
20	こがね公園	黄金中央2-9-1	○	○	70	わんぱく公園	恵み野東6-10-9	○	○
21	恵庭ふるさと公園	黄金中央4-2	○	○	71	タイヤの丘公園	恵み野南2-8-10	○	○
22	北海道文教大学グラウンド	黄金中央5-196-1	○	○	72	アルプス公園	恵み野南3-9-15	○	○
23	北海道文教大学附属高等学校グラウンド	黄金中央5-207-11	○	○	73	恵み野小学校グラウンド	恵み野南4-1-1	○	○
24	いくみ公園	黄金北3-14	○	○	74	おおぞら公園	恵み野北1-8-15	○	○
25	恵明中学校グラウンド	黄金北4-1-1	○	○	75	恵み野中央公園	恵み野北3-9-1外	○	○
26	やなぎ公園	福住町1-3	○	○	76	恵み野旭小学校グラウンド	恵み野北4-1-1	○	○
27	まなび公園	福住町2-6	○	○	77	めぐみの森公園	恵み野北6-3-3外	○	○
28	恵庭小学校グラウンド	福住町2-9-13	○	○	78	さとみ公園	恵み野里美2-13-6	○	○
29	ふくすみ公園	福住町3-11	○	○	79	ルルマップ自然公園ふれらんど多目的芝生広場	西島松275	○	○
30	なみき公園	本町200	○	○	80	ときわ公園	島松本町2-331	○	○
31	めぐみ公園	本町89	○	○	81	かつら公園	島松本町3-447	○	○
32	さかえ公園	漁町41	○	○	82	なかまち公園	島松仲町2-171-1	○	○
33	かわぞえ公園	漁町393	○	○	83	しままつ公園	島松寿町1-21	○	○
34	さくら公園	桜町1-7	○	○	84	わらべ公園	島松寿町2-15-11	○	○
35	つくし公園	桜町3-130	○	○	85	はまなす公園	島松寿町2-32	○	○
36	桜町多目的広場	桜町4-73-1外	○	○	86	あさひ公園	島松旭町3-107	○	○
37	むつみ公園	白樺町1-13-59	○	○	87	ひがし公園	島松東町3-207	○	○
38	かや公園	白樺町3-18-1	○	○	88	いずみ公園	島松東町4-293	○	○
39	恵庭南高等学校グラウンド	白樺町4-1-1	○	○	89	恵庭北高等学校グラウンド	南島松359-1	○	○
40	もいざり公園	大町2-235	○	○	90	島松屋外運動場	南島松404-1外	○	○
41	柏小学校グラウンド	文京町3-3-3	○	○	91	道の駅花ロードえにわ	南島松817-18	○	○
42	恵庭中学校グラウンド	文京町3-4-5	○	○	92	恵北中学校グラウンド	中島松230	○	○
43	おひさま公園	美咲野3-16-249	○	○	93	島松小学校グラウンド	中島松418	○	○
44	ひので公園	美咲野6-29-170外	○	○	94	中恵庭公園	上山口17外	○	○
45	けいほく公園	幸町414-28外	○	○	95	松恵小学校グラウンド	中央452-2	○	○
46	みのしま公園	柏木町354-2外	○	○	96	松鶴公園	漁太282-1	○	○
47	柏木中央会館前広場	柏木町551	○	○	97	随縁カントリークラブ 恵庭コース	盤尻144	○	○
48	恵庭花夢里パークゴルフ場(夏季)	盤尻15-6外	○	○	98	(株)札幌エルムカントリークラブ	島松沢55	○	○
49	恵庭花園室内パークゴルフ場(冬季)	盤尻17-8外	○	○	99	恵庭カントリー倶楽部 恵庭コース	盤尻53-2	○	○
50	あすなろ公園	有明町2-319	○	○					

※上記の一時避難所は災害対策基本法第49条の4に規定する指定緊急避難場所として、市が指定しているものです。
 ※一時避難所一覧の各ナンバリングについては、マップに表示されている一時避難所のナンバリングと一致しています。

収容避難所一覧

○…使用可 ×…使用不可

NO	施設・場所名	住所	電話番号	対象の災害種別					収容可能 人数	福祉 避難所
				洪水	土砂 災害	地震	大規模な 火事	火山 現象		
①	和光小学校	和光町2-10-1	32-4744	○	○	○	○	○	426	
②	和光会館	和光町2-2-8	33-8012	○	○	○	○	○	194	
③	和光憩の家	和光町3-1-1	32-4711	○	○	○	○	○	105	○
④	えにあす (アルファコート緑と語らいの広場)	緑町2-1-1	34-7000	○	○	○	○	○	323	
⑤	黄金ふれあいセンター	黄金南5-11-1	32-2081	○	○	○	○	○	215	
⑥	子ども発達支援センター	黄金南5-11-4	33-3382	○	○	○	○	○	143	○
⑦	北海道文教大学	黄金中央5-196-1	34-0019	○	○	○	○	○	684	
⑧	総合体育館	黄金中央5-199-2	32-2261	○	○	○	○	○	1,500	
⑨	北海道文教大学附属高等学校	黄金中央5-207-11	34-0019	○	○	○	○	○	435	
⑩	恵明中学校	黄金北4-1-1	33-3001	○	○	○	○	○	453	
⑪	福住憩の家	福住町1-21-29	33-7662	×	○	○	○	○	79	○
⑫	恵庭小学校	福住町2-9	32-3288	×	○	○	○	○	374	
⑬	市民会館	新町10	33-3171	×	○	×	○	○	596	
⑭	桜町会館	桜町3-8-13	33-7840	○	○	○	○	○	197	
⑮	恵庭南高等学校	白樺町4-1-1	32-2392	○	○	○	○	○	700	
⑯	大町会館	大町1-10-1	32-2009	×	○	○	○	○	160	
⑰	大町憩の家	大町4-5-15	34-3088	×	○	○	○	○	128	○
⑱	かしのもり	大町1-5-7	33-7171	×	○	○	○	○	111	
⑲	柏小学校	文京町3-3-3	32-3579	○	○	○	○	○	348	
⑳	恵庭中学校	文京町3-4-5	32-3249	○	○	○	○	○	331	
㉑	有明会館	有明町5-1-3	33-5741	○	○	○	○	○	135	
㉒	中島会館	中島町4-17-14	33-1879	○	○	○	○	○	104	
㉓	若草小学校	中島町4-5-1	33-7101	○	○	○	○	○	390	
㉔	柏陽憩の家	柏陽町1-26	33-1221	○	○	○	○	○	126	○
㉕	柏陽会館	柏陽町1-26	33-1222	○	○	○	○	○	144	
㉖	柏陽中学校	柏陽町3-265	34-0551	○	○	○	○	○	352	
㉗	恵み野中学校	恵み野東1-1-2	37-0331	○	○	○	○	○	423	
㉘	恵み野小学校	恵み野南4-1-1	36-7505	○	○	○	○	○	327	
㉙	恵み野会館	恵み野北2-12-2	36-4491	○	○	○	○	○	196	
㉚	恵み野憩の家	恵み野北2-1-3	37-1622	○	○	○	○	○	146	○
㉛	恵み野旭小学校	恵み野北4-1-1	37-1760	○	○	○	○	○	344	
㉜	ルルマップ自然公園ふれあいセンターハウス	西島松275	37-5333	○	○	○	○	○	45	
㉝	農業活性化支援センター	西島松41-2の内	39-6057	○	○	○	○	○	76	
㉞	島松公民館	島松本町3-12-20	36-7503	○	○	○	○	○	413	
㉟	寿町会館	島松寿町2-24-3	36-5454	○	○	○	○	○	205	
㊱	島松憩の家	島松東町1-1-15	36-5092	○	○	○	○	○	185	○
㊲	恵庭北高等学校	南島松359-1	36-8111	○	○	○	○	○	374	
㊳	島松体育館	南島松389-3	36-5658	○	○	○	○	○	420	
㊴	道の駅花ロードえにわ	南島松817-18	37-8787	○	○	○	○	○	254	
㊵	恵北中学校	中島松230	36-8966	○	○	○	○	○	296	
㊶	島松小学校	中島松418	36-8967	○	○	○	○	○	315	
㊷	中恵庭会館	中央382-2	33-3818	○	○	○	○	○	58	
㊸	東恵庭会館	中央449-1	33-2067	○	○	○	○	○	208	
㊹	松恵小学校	中央452-2	32-4891	○	○	○	○	○	157	
㊺	春日会館	春日428	33-0234	×	○	○	○	○	56	
㊻	北栄会館	北島215	36-7256	×	○	○	○	○	87	

※上記の収容避難所は災害対策基本法第49条の4及び第49条の7に規定する指定緊急避難場所及び指定避難所として、市が指定しているものです。
 ※収容避難所一覧の各ナンバリングについては、マップに表示されている収容避難所のナンバリングと一致しています。

風水害への備え

雨による危険度のチェックポイント

やや強い雨
(1時間に10~20mmの雨)



地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。

強い雨
(1時間に20~30mmの雨)



土砂降りの雨、傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、小河川では、はん濫やがけ崩れの心配もあります。

激しい雨
(1時間に30~50mmの雨)



バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要です。道路規制も行われます。

非常に激しい雨
(1時間に50~80mmの雨)



雨が滝のように降り、あたりが水しぶきで白くなります。マンホールから水が噴出することもあり、土石流などが発生しやすく、警戒が必要です。

猛烈な雨
(1時間に80mm以上の雨)



息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要です。

● 警報・注意報の種類

● 大雨注意報

● 大雨警報

● 記録的短時間大雨情報

● 大雨特別警報

風による危険度のチェックポイント

やや強い風
平均風速 (10~15m/s)



風に向かって歩きにくくなり、取付けの不十分な看板やトタンが飛び始めます。

強い風
平均風速 (15~20m/s)



風に向かって歩きにくくなり、転倒する人が出たりビニールハウスが壊れはじめたりします。

非常に激しい風
平均風速 (20~25m/s)



しっかりと体勢を確保しないと転倒します。金属製のシャッターが破損したり、風で飛ばされたもので窓ガラスが割れたりします。

非常に激しい風
平均風速 (25~30m/s)



立っていられなくなり、屋外での行動は危険です。ブロック塀が壊れたり、取付けの不十分な屋外外装材がはがれ飛び始めます。

猛烈な風
平均風速 (30m/s以上)



樹木が根こそぎ倒れ始め、屋根が飛ばされたり、木造家屋が全壊したりします。

● 警報・注意報の種類

● 強風注意報

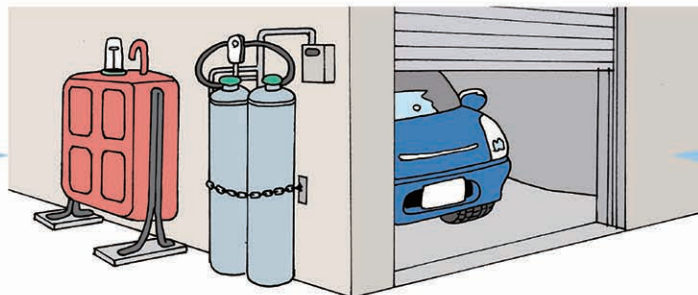
● 暴風警報

● 暴風特別警報

わが家の風水害対策

● 家の周囲の片づけ

台風がくると、強風で物が飛散します。家の周りの鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高いものは屋内に片づけましょう。灯油のホームタンクやプロパンガスのボンベの固定状況も再確認しましょう。



● 半地下、地下駐車場の浸水対策

半地下や地下駐車は道路からの雨水が流入し、浸水することがあります。浸水の恐れがあるときは、地下室に入らないようにし、事前に止水板・土のうなどで浸水防止策をとりましょう。

竜巻への備え

竜巻とは？

発達した積乱雲の底から柱状またはロート状に地面や水面に伸びた非常に速い速度で回転する空気の渦です。

移動スピードが非常に速く、短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。

竜巻注意情報が発表されたら

まず周囲の空の状況に注意を払ってください。

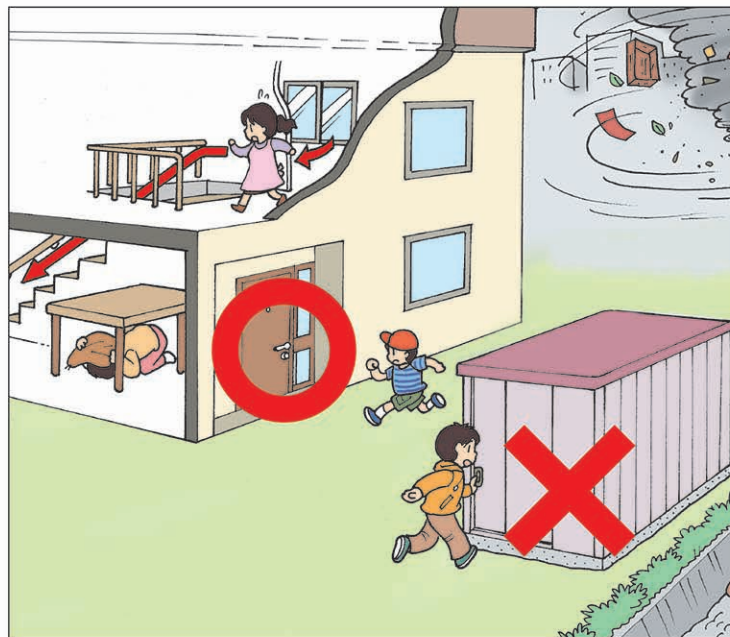
さらに、次のような兆候が確認されたら、頑丈な建物に避難して、身の安全を図ってください。

- 1) 空が急に真っ暗になる。
- 2) 大粒の雨が降り出す。
- 3) 雷が発生する。
- 4) 積乱雲が近づく。

竜巻が間近に迫ったら

すぐに身を守るための行動をとってください。

- 1) 屋内：窓やカーテンを閉めて、一階の窓のない部屋に移動し、机やテーブルの下に入るなど、頭を守ってください。
- 2) 屋外：頑丈な建物の物陰に入って、身を小さくする。
物置・車庫・プレハブの中や電柱・樹木は倒壊する恐れがあり、危険です。



竜巻注意情報

竜巻注意情報は、竜巻やダウンバースト等による激しい突風に対して注意を呼びかける気象情報で、気象台から発表されます。

「竜巻注意情報」の発表から約1時間は注意してください。危険な気象状態が続く場合は、改めて情報が発表されます。

雪害への備え

雪害は、豪雪地帯や雪崩の発生する恐れがある山間部に住む人達への注意と思われがちですが、実際には除雪中に起きる事故が最も多いのです。

また、外出する時などには、気象情報などを十分に確認しましょう。

「除雪中の事故を防ぐための10か条」

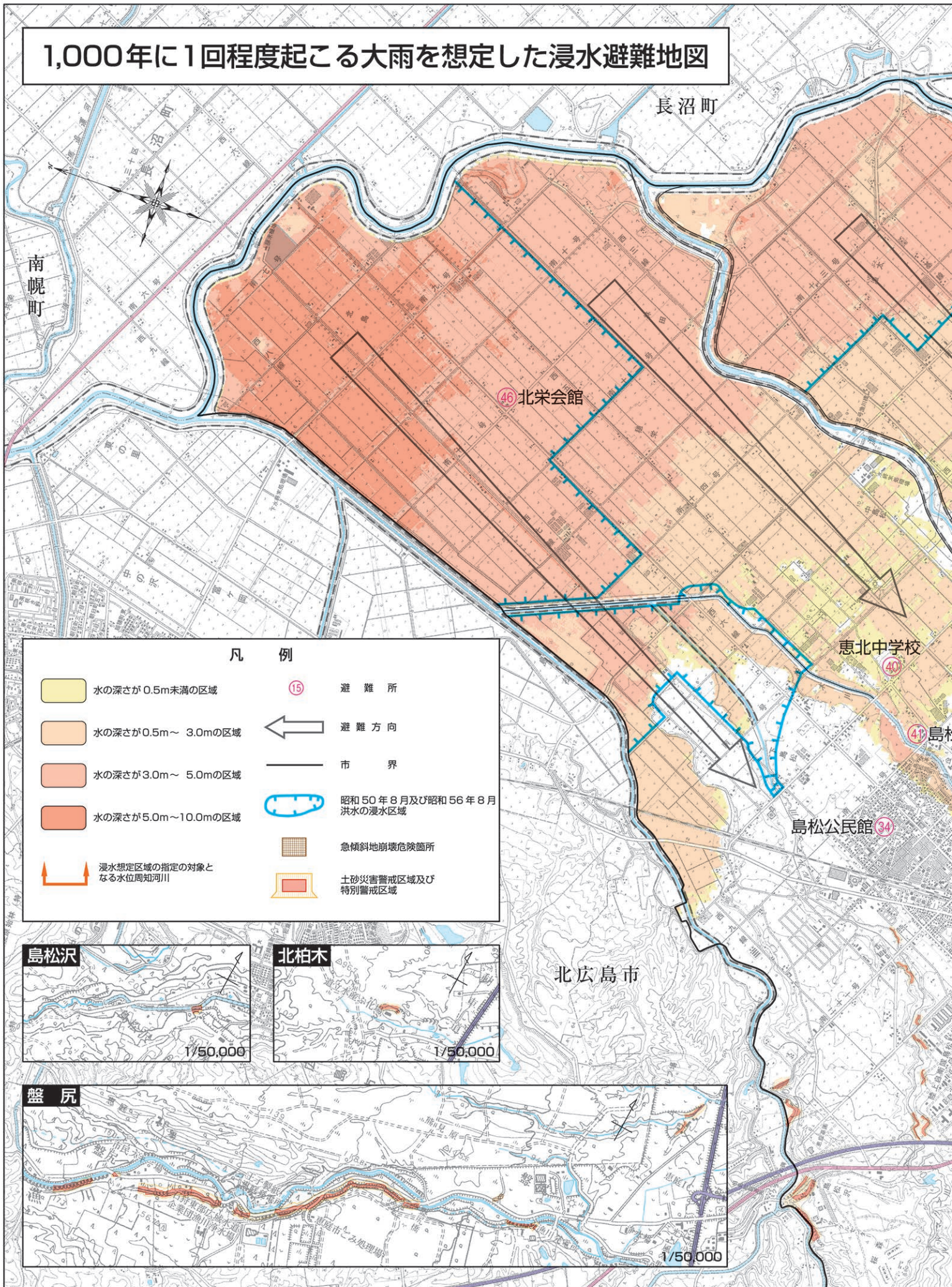
- ① 作業は、家族や隣近所にも声をかけて、2人以上で行いましょう。
- ② 低い屋根でも油断しないでください。
- ③ 建物のまわりには、雪を残して雪下ろしをしてください。
- ④ 作業開始直後と疲れた頃が特に慎重に作業するようにしてください。
- ⑤ 晴れている日ほど要注意です。屋根の雪がゆるんでいます。
- ⑥ 命綱とヘルメットを忘れずにつけてください。
- ⑦ 屋根に昇る時の梯子は、必ず固定してください。
- ⑧ スコップ等の除雪道具は、点検をするようにしてください。
- ⑨ 除雪機の雪づまりの手入れなどは、エンジンを切ってから作業するようにしてください。
- ⑩ 携帯電話は、忘れずに携帯するようにしてください。

● 天気予報で「数年に1度の猛吹雪」「外出は控えて」などの言葉があれば暴風雪に警戒を。

● 暴風雪のときは外出しないことが最も安全です。普段から家の中で安全に過ごせる準備をしましょう。



1,000年に1回程度起こる大雨を想定した浸水避難地図



浸水避難地図

この地図は、千歳川、漁川が大雨によって増水し、市内で堤防が決壊した場合の浸水予想結果に基づいて、浸水する範囲とその程度、浸水実績ならびに各地区の避難所を示した地図です。

大雨の規模は、72時間の総雨量で千歳川流域 379mm、漁川流域 486mm (1,000年に1回程度起こる大雨)を想定しています。

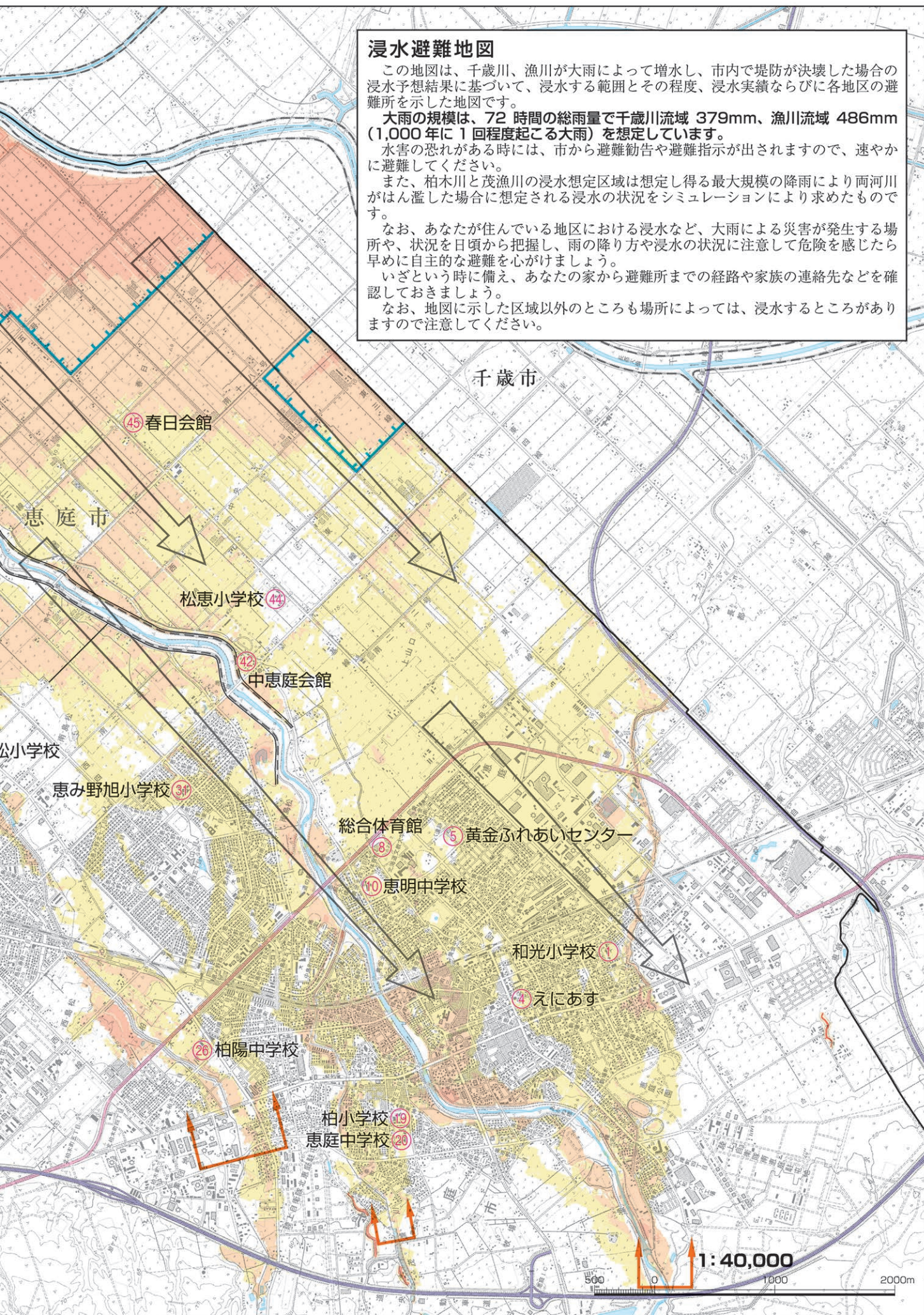
水害の恐れがある時には、市から避難勧告や避難指示が出されますので、速やかに避難してください。

また、柏木川と茂漁川の浸水想定区域は想定し得る最大規模の降雨により両河川がはん濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。

なお、あなたが住んでいる地区における浸水など、大雨による災害が発生する場所や、状況を日頃から把握し、雨の降り方や浸水の状況に注意して危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけましょう。

いざという時に備え、あなたの家から避難所までの経路や家族の連絡先などを確認しておきましょう。

なお、地図に示した区域以外のところも場所によっては、浸水するところがありますので注意してください。



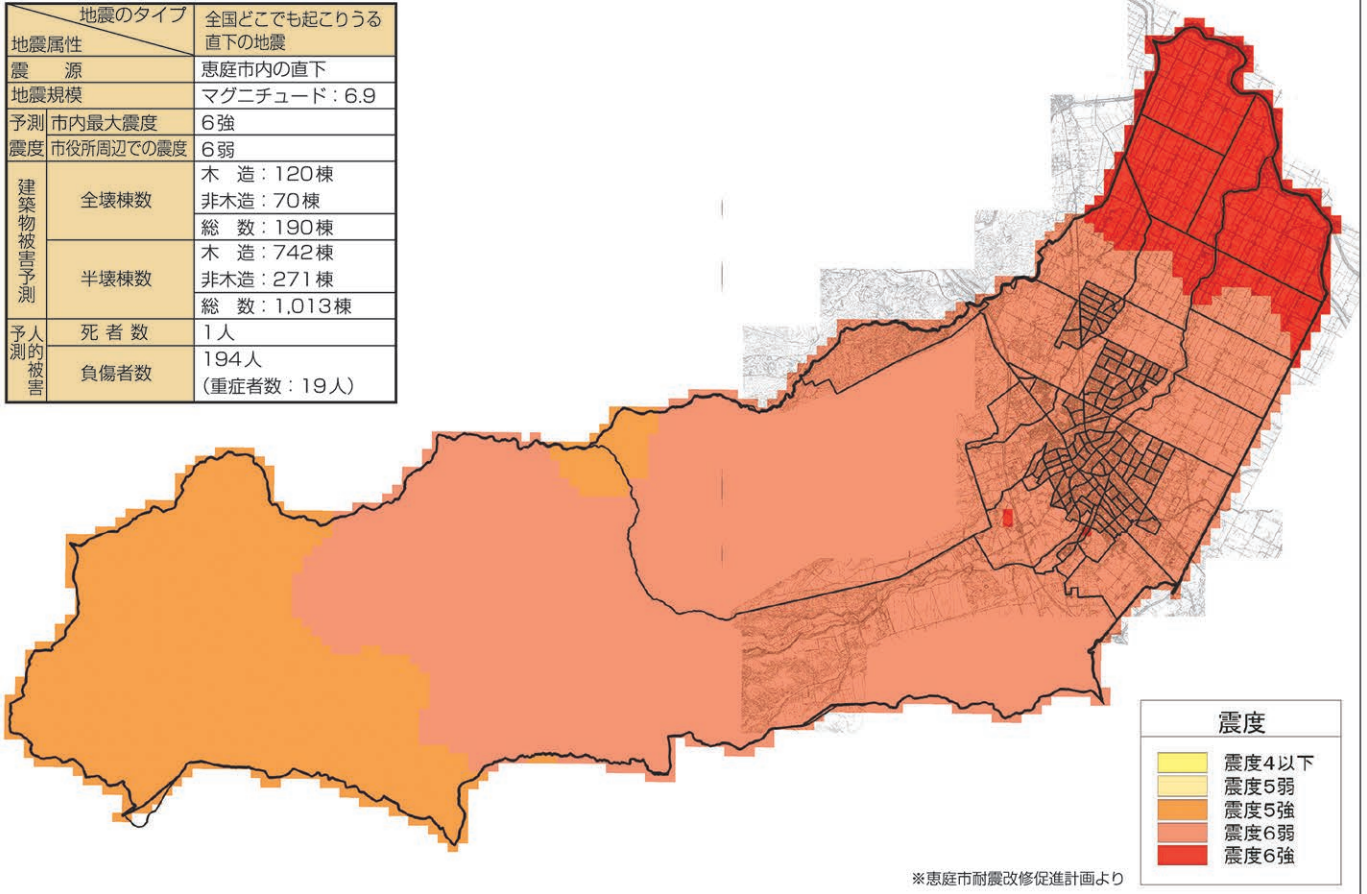
地震への備え

恵庭市揺れやすさマップ

■想定地震と被害の予測

地震のタイプ		全国どこでも起こりうる直下の地震
地震属性		恵庭市内の直下
震源		マグニチュード：6.9
予測	市内最大震度	6強
震度	市役所周辺での震度	6弱
建築物被害予測	全壊棟数	木造：120棟
		非木造：70棟
	総数：190棟	
半壊棟数	木造：742棟	
	非木造：271棟	
総数：1,013棟		
予人的被害	死者数	1人
	負傷者数	194人 (重症者数：19人)

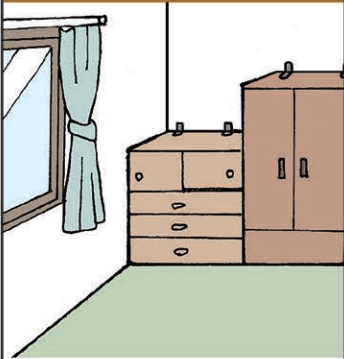
■全国どこでも起こりうる直下の地震での想定震度



わが家の安全対策

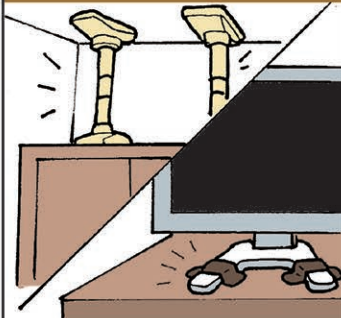
地震が発生した時、被害を最小限に抑えるには、一人ひとりが慌てずに適切な行動をとることが大切です。いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃から地震の際の正しい心構えを身につけておきましょう。

窓ガラスの飛散や高い所からの物の落下を防ぎましょう



窓ガラスには、飛散防止フィルムを貼るようし、スリッパを用意しておきましょう。また、家具の上に物を置かないようにしましょう。

家具の転倒、落下防止対策をしましょう



大型の家具や電化製品等は固定していないと思わぬ凶器となります。地震時の転倒・落下防止策として普段から家具などを固定しておきましょう。

寝室や人の出入りが
多い部屋には大きな家具
を置かないように
しましょう



就寝中に地震に襲われると大きな家具が倒れて危険です。大きな家具は、寝室や人の出入りが多き部屋には置かないようにしましょう。

避難通路を
確保しておきましょう



安全に避難できるように、玄関や廊下などには家具や荷物は置かないようにしましょう。

地震発生! そのときどうする

地震発生



・落ち着いて、まずは自分の身を守る。揺れが続いている場合は、テーブルや机の下で安全を確保しましょう。

1~5分



・揺れが治まったら落ち着いて火の始末をしましょう。
 ・家族全員の安全を確認しましょう。
 ・ドアや窓を開けて出口を確保しましょう。
 ・ガラスの破片などから足を守るためにスリッパや靴をはきましょう。

5分~15分



・余震に注意しながら行動しましょう。
 ・テレビやラジオで正しい情報を収集しましょう。

15分~数時間



・避難する際はガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを落としましょう。

・隣近所の安全を確認し、状況に応じて消火活動や救出活動を行いましょう。
 ・家屋の倒壊や火災の延焼などの恐れがあれば避難する。

~3日くらい



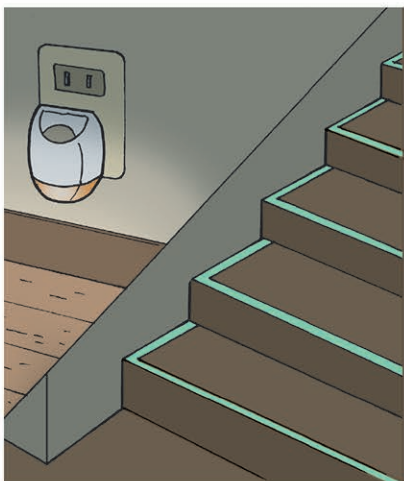
・生活必需品は備蓄でまかないましょう。
 ・壊れた家には入らないようにしましょう。
 ・避難生活では、集団生活のルールを守りましょう。

停電時の備え

備え① 安全に避難するためには

夜間の場合、出口がわからない、床の段差やガラスの破片が見えないなど、とても危険です。

リビングや寝室などに懐中電灯や足元灯を備えましょう。



懐中電灯と足元灯とを兼ね、停電や地震が起きた時に自動的に点灯するタイプが有効です。足元灯の設置が難しい階段などには、残光テープが効果的です。

備え② 災害情報を確保するためには

インターネットや携帯電話などを利用できないおそれがあり、情報を得ることが困難になります。

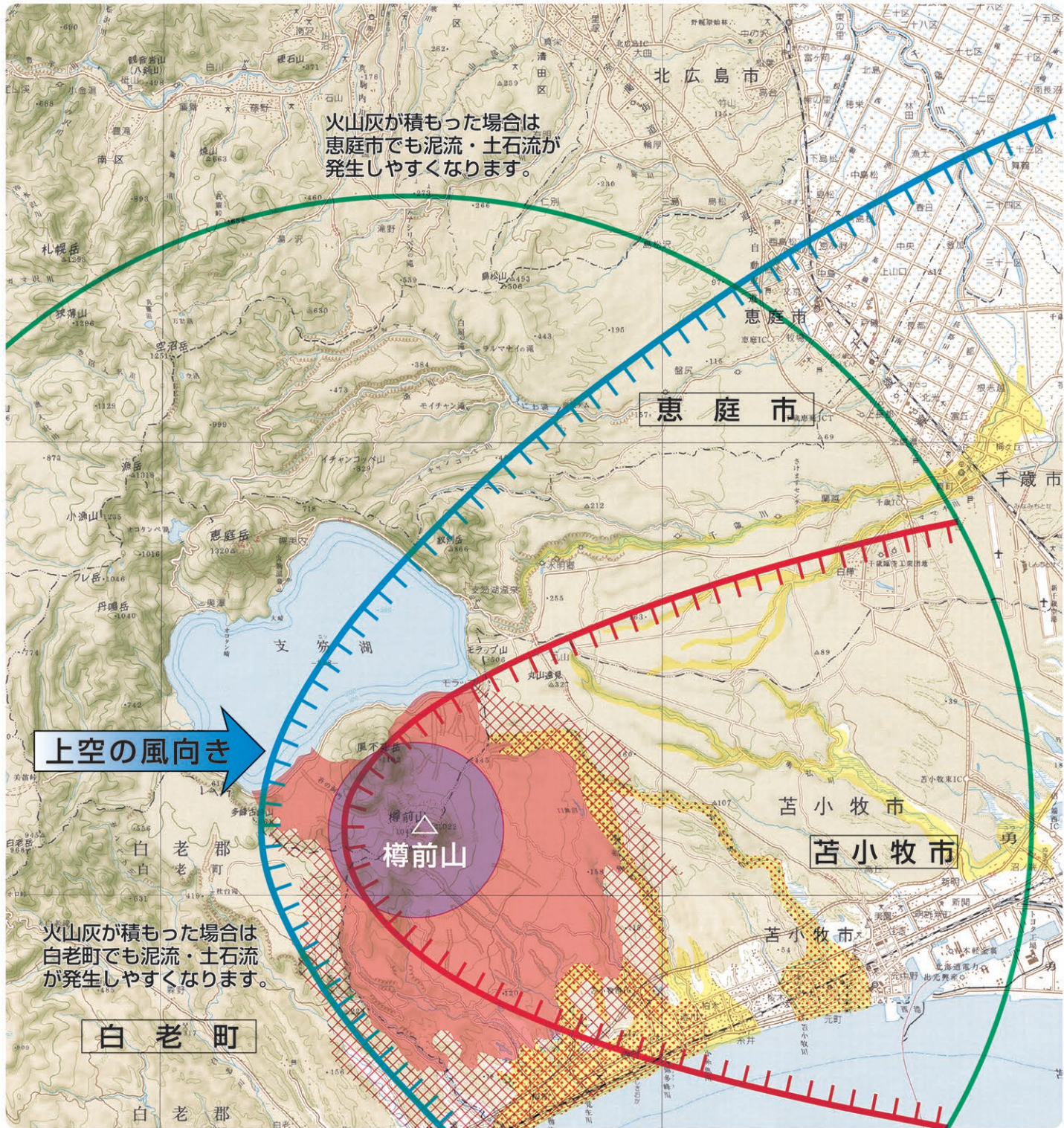
ラジオや予備の電池を常備しておきましょう。

停電時、屋内で救助を待つ場合や屋内での避難生活に備えて家庭用医療機器等については必要な予備バッテリーを備え、停電時の電源の切り替え手順などを確認しておくことも必要です。



火山災害への備え

樽前山噴火の被害想定範囲



凡例 1739年の噴火と同じ大きさの噴火が起こった場合にはこんな危険性があります……	【火砕流】 危険度重大 火砕流の本体に襲われる危険性の高い区域 危険度大 火砕流の熱風部に襲われる危険性の高い区域	【噴出岩塊】 危険度重大 直径15mの岩が飛んで来る危険性の高い区域	【火山灰の降下】 西風のとき 危険度大 100cm以上火山灰が堆積する危険性の高い区域 危険度中 25cm以上火山灰が堆積する危険性の高い区域 この区域の外にも降灰の可能性があります	その他の風向きのとき 危険度中 風向きによっては100cm以上火山灰が堆積する危険性のある区域 この区域の外でも25cm以上火山灰が堆積する可能性があります	【泥流・土石流】 積雪期には…… 危険度重大 積雪が火砕流の熱で融かされて発生する泥流が氾濫する危険性の高い区域 危険度大 雨のときに泥流・土石流が氾濫する危険性の高い区域 ※降灰の分布によって危険区域は変わるので、これ以上の谷にも危険性があります
--	--	---	--	---	---

樽前山が噴火するとこんな現象が起こります。



降 灰

火山灰は、上空の風に運ばれます。上空の風は、地上の風とは異なり、樽前山付近は強い西風が多く、そのために降灰の危険区域は主に樽前山の東側に広がります。

噴 石

爆発的な噴火によって岩石が吹き飛ばされます。小さな噴石でも直接体に当たると大けがをする危険性があります。

溶岩流

溶岩流とは高温の溶岩(マグマ)が斜面を流れ下る現象です。

溶岩流が沼地や川に流れ込むと激しい二次爆発を引き起こすこともあります。

火砕流

数百度の岩石やその破片が、斜面を高速で流れ下る現象です。火砕流の特徴は、きわめてスピードが速いことで、遅いものでも時速100km~200kmに達します。

泥石流・土石流

土・岩片などが水と混ざり合って時速数10km程の高速で谷を流れ、谷の出口で氾濫する現象です。谷や谷の出口、低い場所が危険区域になります。

積雪の上に火砕流などが発生し、熱で雪が一気に融けた時や降灰のあったところに雨が降ったときに発生します。

もし噴火が始まったら



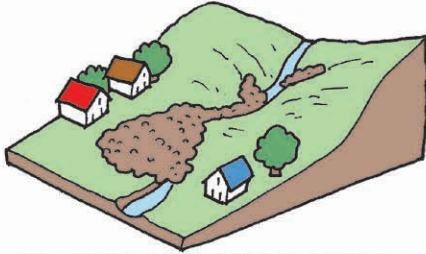
警報の区分

警報・予報区分	警報の呼び方	警戒レベル(キーワード)
噴火警報	噴火警報	レベル5(避難)
	正式:噴火警報(居住地域)	レベル4(避難準備)
噴火予報	火口周辺警報	レベル3(入山規制)
	正式:噴火警報(火口周辺)	レベル2(火口周辺規制)
噴火予報		レベル1(平常)

土砂災害への備え

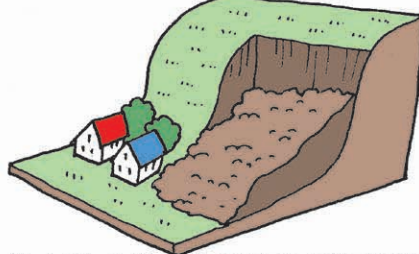
土砂災害の種類

土石流



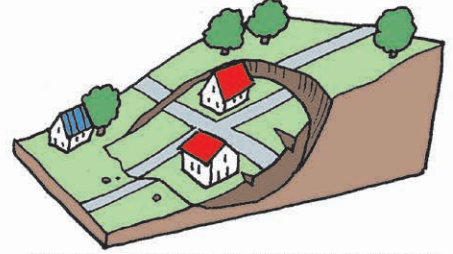
山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象のことをいいます。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



地中にしみ込んだ水分により斜面が不安定になり、雨や地震などの影響によって急激に崩れ落ちることをいいます。

地すべり



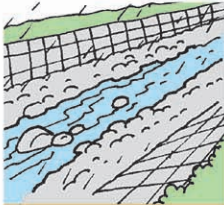
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。

こんな前ぶれ現象に注意!

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難すると共に、関係機関へ通報してください。



山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



川の流れが濁り流木が混ざり始める



小石がパラパラ落ちてくる

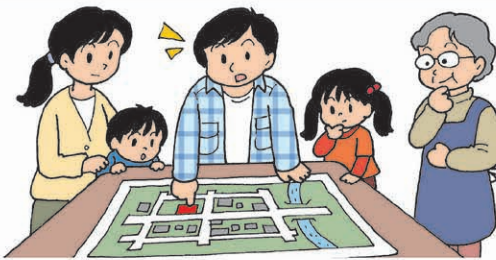


地面にひび割れができる



斜面から水がふき出す

安全に避難するために



土砂災害の危険がある場所、避難場所や避難経路を日ごろから確認しておきましょう。



土石流では、流れる方向に対して直角方向に逃げましょう。

土砂災害の警戒種別

○土砂災害警戒区域(通称：イエローゾーン)とは

土砂災害が発生した場合に住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のことです。

○土砂災害特別警戒区域(通称：レッドゾーン)とは

土砂災害が発生した場合に建築物に破損が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が発生するおそれがあると認められる土地の区域で一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制をすべき土地の区域のことです。

該当する凡例

警土		土	石	流
砂		が	け	崩
災		地	す	れ
害				
区				
特				
別				
域				

土砂災害警戒情報について

大雨による土砂災害の危険性が高まったときに、避難の判断の参考となるよう、北海道と札幌管区気象台が共同で発表する防災情報です。この情報の発表いかんにかかわらず、危険を感じた場合は速やかに自主避難してください。

恵庭市土砂災害ハザードマップについては、巻末ポケットのハザードマップや恵庭市ホームページでご確認ください。

わが家の防災メモ

●火事・救急 **119**

●警察 **110**

●災害用
伝言ダイヤル **171**

防災無線が聞こえないときは—テレフォン案内 **35-4664**

●家族の情報

名前	性別	続柄	生年月日	血液型	携帯電話	勤務先・学校	電話番号

●緊急連絡先

名前	電話	携帯電話	続柄	メモ

●わが家の避難場所（収容避難所、一時避難所等を記入してください）

	収容避難所	一時避難所	備考
場所名			

恵庭市の過去の災害



大町会館付近

56水害

1981年(昭和56年)8月4日～6日、8月23～24日にかけて発生。
北海道に前線が停滞しているところに、台風(12号)が発生し長時間の大雨となりました。恵庭市においても400mmを越える降雨量となり、8月23日に再び襲った台風(15号)では、千歳川と漁川の合流付近で堤防が決壊するなど、大きな被害に遭いました。



避難所の開設

北海道胆振東部地震

2018年(平成30年)9月6日3時7分に、北海道胆振地方中東部を震源として発生。
北海道で初めて最大震度7が観測された地震であり、地震に伴い全道でブラックアウトが発生。
恵庭市においても震度5強を観測し、直ちに災害対策本部を設置、7ヶ所の避難所を1週間にわたり開設し、延べ1,000人を超える避難者を受け入れるなどの災害対応にあたりました。

過去に恵庭市を襲った大きな2つの災害を掲載しました。
災害はいつ起こるかわかりません。過去の災害を教訓として、日頃からの災害への備えが何より重要です。今一度ご自身の備蓄品の確認やハザードマップ、最寄りの避難所の場所を確認するなど、ご自身の身を守るため、ぜひこのガイドブックを日頃から活用してください。